

委員会設立趣意

東京急行電鉄は、田園都市線の混雑を緩和するための抜本的な対策として、大井町線大井町～二子玉川間 10.8km の改良工事、田園都市線二子橋梁～溝の口間 2.1km の複々線化工事を実施しています。等々力駅は、この事業の一環として、駅を地下化し、1面4線化することで急行待避が可能な施設にするとともに、バリアフリー化を行う計画となっています。

世田谷区は、この計画に対して住民から寄せられた周辺環境へ不安の声を受け、第三者的な立場から指導・助言する機関の設置を東急電鉄に指導しました。

このような背景のもと、当委員会は、工事に際して周辺の地下水・湧水などの水文環境や等々力溪谷の環境、地盤変位等の生活環境への影響が生じないように、設計・施工内容や工事開始後の施工状況、工事竣工後の状況に対し、適切な助言を行うことを目的として設置されました。

なお、本技術検討委員会の委員長には、「東京の名湧水 57 選」の委員長を務め、これまで地下水保全に関する著書や研究に携わっておられ、国分寺崖線や世田谷区内の地盤環境、地下水環境、保全対策の分野に詳しい立正大学地球環境学部の高村学部長にお願いしました。副委員長には、委員長の高村先生の御推挙により、元奈良大学文学部地理学科教授の細野先生にお願いしました。